

宮崎県「小中高特つながりのある学習」の研究内容 ～平成26・27・28年度～ H28. 10

26年度“わかる” 27年度“かかわる” 28年度“できる”

- 1 学習内容の確実な定着を図る指導方法・評価の工夫
- 2 「技能」「態度」「知識、思考・判断」のバランスのとれた効果的な指導の在り方

ア 学習資料の意図的・計画的な活用

- ① 「4-4-4」の学習内容の体系化に伴う学習資料の作成
 スキルマスターカード（小学部会）
 指導ポイント集（中学部会）
 スキルアップテキスト（高校部会）

② 学習資料活用の明確化

〔学習資料をどのタイミングでどのような目的で使ったか〕

イ 学び合い活動を大切に授業展開

- ① 児童・生徒の発達段階に応じた「わかる授業」のつながり
 指導者が児童・生徒の発達段階に応じ、どのような基本的な考えをもち、授業に臨まなければならないのかというつながりを理解して授業を構築

- ③ 児童・生徒の発達段階に沿った思考力を高めるための授業マネジメント
 個別学習、ペア学習、班別学習、技能段階別学習
 ↓
 教え役となる児童生徒を増やす授業づくり

ア 学習資料の意図的・計画的な活用

- ① 「4-4-4」の学習内容の体系化に伴う学習資料の作成
 〔発達段階で明記された態度の内容に関する12年間の系統表を作成〕

② 学習資料の活用の仕方の明確化

〔どのタイミングで学習資料を活用し生徒相互の学びを通して学びの良いサイクルにつなげた〕

イ かかわり合いを大切に授業展開

- ① 児童・生徒の発達段階に応じた「態度を育てる授業」のつながりとゴールイメージ

- ② 児童・生徒の発達段階に沿った態度を高めるための授業づくりのマネジメント

【人とのかかわり】

- (小) グループ編成の工夫
- (中)
- (特)
- (高) リトルティーチャーの活用

【教材とのかかわり】

- (小) ウォーミングアップで心身をほぐす
- (中) 単元計画の作成
- (高) スキルアップテキストの効果的な活用
- (特) かかわり合いが必要となる運動の開発

ア 学習資料の意図的・計画的な活用

- ① 「4-4-4」の学習内容の体系化に伴う技能系統表の作成

- ② 技能内容の明確化に伴う評価カードの工夫と活用

〔個人で評価（チェック）
 生徒同士で評価（チェック）
 教師が評価？→生徒へ評価を還元〕

イ 学び合いを大切に授業展開

- ① 「できる」ためのKOETAカード（評価学習カード）の活用

評価カードで、“何ができて”
 “何ができない”
 のかを自覚する。

→ 練習の工夫として

- ② 「できる」ためのICTの活用

